

R P P C メール

リサイクルポート推進協議会

第 2 5 4 号 (平成 2 0 年 1 0 月 8 日発行)

=====

○目次

《RPPC 活動予定表》

1 0 / 2 4 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会 1 5 : 0 0 ~ パーク芝浦 3 F

=====

《RPPC からのお知らせ》

港別協議会事務局担当者様

2 0 0 8 年 港別交流会の開催地公募 本日 (1 0 月 8 日) 締め切りです!

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

- 1 . 沿岸センター、海洋・港湾構造物維持管理講習会
- 2 . 沖縄県が本部港の物流機能向上へ岸壁整備
- 3 . 大竹港でシンポジウム開催、大竹市、広島県、中国地整局が主催

=====

《RPPC からのお知らせ》

リサイクルポートを活用した実証事業の募集

~ 1 0 月 3 日付けの号外で案内しましたが、再度ご案内致します ~

本協議会では、リサイクルポートを活用した循環資源の広域利用をさらに推進するため、海上輸送を利用する場合の各種課題を抽出・確認し、その解決を目的とした循環資源の輸送に関する実証実験を実施することとなりました。つきましては、実際に循環資源を輸送し、実績がある事業者から実証事業計画を募集致します。

詳細は、添付しております『リサイクルポート実証事業公募要綱』をご覧ください。

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

- 1 . 沿岸センター、海洋・港湾構造物維持管理講習会

(財)沿岸技術研究センターは、今後の需要増大が見込まれる海洋・港湾構造物の維持管理業務に適切に対応するため、同分野に関わる専門的知識を有する「海洋・港湾構造物維持管理資格制度」を創設した。同分野に総合的な知見を有する者を、資格試験を通じて「海洋・港湾構造物維持管理士」として認定する。また同分野の専門技術者の育成、確保を目的とした講習会も開催する。20年度の資格試験は21年1月11日(日)を予定し、講習会はそれに先立って今年12月に東京(12月9日~11日)、大阪(12月17日~19日)の2会場で実施する。

【港湾空港タイムス】

2 . 沖縄県が本部港の物流機能向上へ岸壁整備

沖縄県港湾課は特定地域振興重要港湾に位置づけられている本部港の機能向上として、マイナス 9m 岸壁延長 220m の整備計画を進めている。今年度に設計を行って来年度から現地着工する予定。平成 25 年度までに岸壁とふ頭用地、ならびにふ頭用地背後の港湾緑地などを整備する方針。同ふ頭は大型クルーズ船や関東地方と結ぶ RORO 船の就航などに活用していく方針。

同港には現在マイナス 7.5m 岸壁延長 330m があり、鹿児島港と結ぶ定期航路や不定期の外貿石炭船、またクルーズ船の受入などを行っている。しかし、これら船舶が同時入港した際にはクルーズ客を沖取りする必要があるほか、今後は地域振興につながる京浜、阪神を結ぶ RORO 船定期航路の誘致なども計画している。このため同岸壁に隣接してマイナス 9 m 岸壁を新たに整備して、同港の輸送機能を強化する。

【港湾空港タイムス】

3 . 大竹港でシンポジウム開催、大竹市、広島県、中国地整局が主催

9 月 27 日に広島県大竹市内の会場において、大竹市、広島県、中国地方整備局の主催による大竹港シンポジウム「海路(みち) 世界へと大竹港が描く産業未来図」が開催された。当日は約 600 名の参加があるなど盛況で、地元大竹市長をはじめ港湾利用者等がパネリストになって大竹港を核とする産業振興や地域活性化方策等について意見を出し合った。

当日は始めに主催者を代表して入山欣郎大竹市長と有岡宏広島県副知事が開会挨拶を行い、その後、来賓として溝手顕正参議院議員、中国経済連合会福田督会長らが大竹港の国際物流機能強化への期待を述べた。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員：藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当：首藤、新谷、高橋(美)

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

#####